

2013 年度第 8 回研修委員会議事録

- 日 時 : 2013 年 11 月 5 日 (火) 14:00~17:30
場 所 : 桜美林大学 四谷キャンパス 会議室 Y002
出席者 : 山田雅子 (慶應義塾大学)・南川真貴子 (中央大学)・佐々木俊介 (桜美林大学)・杉谷美和 (明治大学)・渡邊崇 (株式会社 トランスヒューマン)・金万智昭 (専修大学)・恒次知美 (専修大学)
欠席者 : 藤原明子 (早稲田大学)・伊原千秋 (中央大学)・吉田勇 (シカケ株式会社)
議長 : 山田雅子 (委員長)
記録 : 恒次知美 (専修大学)
配布資料 : ① 2013 年度第 8 回研修委員会 議事次第 (委員長作成)
② 2013 年度私図協研修会懇親会スケジュール案 (委員長作成)
③ 2013 年度私図協研修会ポスター展示確認事項一覧 (杉谷委員作成)
④ 2013 年度私図協研修会 POP 掲示場所マップ (佐々木委員作成)
⑤ 2013 年度私図協研修会ヒアリングシートまとめ (事務局作成)
⑥ 2013 年度私図協研修会当日スケジュール案 (事務局作成)
⑦ 2013 年度私図協研修会参加者一覧 (事務局作成)
⑧ 2013 年度私図協研修会収支予測 (事務局作成)

議 事

1. 2013 年度研修会 検討

1.1. 2013 年度研修会 運営関連

1.1.1. 参加者関連

事務局より、参加者関連の報告がなされた。一旦申込みをした後にキャンセルした大学が 3 校あり、11 月 5 日現在の参加者は 65 人となった。

ヒアリングシートは 57 人が提出済となっている。未提出の対象者のうち、メールの受信確認の未返信となっている参加者が何人かいるため、後日事務局より個別に確認を行う予定となる。

また、参加者へ配布する「参加者名簿」を作る際には会場校と事務局からの応援スタッフの名前も入れる。学生ボランティアについては人数のみ記載し、名前等は記載しない。

1.1.2. 経費関連

経費に関しては事務局より最新の本年度の収支予測が提示された。

懇親会費、飲み物代、昼食代等は、すべて当日現金払いとする。

また、飲み物代、昼食代等に関しては最新の単価、人数等を反映したものを後日送付する。

1.1.3. 当日スケジュール

事務局より送付した当日の業務スケジュールを元に検討が行われた。以下に箇条書きで記載する。

- ・ 休憩時の飲み物について、一日目 9:30、二日目 9:15 に会場へ届けてもらう。
- ・ 昼食時の飲み物について、一日目 11:30、二日目 11:15 に会場へ届けてもらう。
- ・ 支払いは毎次となり、すべて領収書を別にしてもらう。
- ・ 図書館ツアー開催時は、佐々木、桜美林大学スタッフ、南川以外はツアーへ一緒に参加することとする。

- ・ 専修大学よりサポートスタッフは、一日目のみ参加とする。
- ・ 学生スタッフは14:30-19:00、二日目12:30-16:30の参加となる。

1.1.4. 懇親会

懇親会の参加について、会場校（桜美林）からは図書館長、図書館情報メディアセンター部長が参加する。研究部理事校（専修）からは今回は参加しない。また、ワークショップを手伝ってもらった学生を懇親会に招待することにした。

挨拶と乾杯を桜美林大学図書館長にお願いする。その他は研修委員の自己紹介と吉田氏の紹介を行うのみを予定しておく。

手土産については、専修大学で用意し、桜美林大学への荷物送付時に同梱する。

最寄り駅から桜美林大学までの移動で、スクールバスを利用することができるが、混んでいる場合を考えて、ランチマップに通常のバス停の記載も行う。

研修会前日に会場校へ集まることも検討したが、会場が開いていないこと、準備は当日の8:30からで間に合うのではないかという意見があったため、前日の委員会開催はなくなった。ただし、必要であれば任意のメンバーで集まることとする。

名札については、8日までに班割りまでを決定していただき、9日に名前、班が入ったものを印刷することとする。学生スタッフにも名札は配布するが、腕章で区別がつくようにする。グレーが受講者、緑がスタッフと学生、黄が講演者の予定となる。

オリエンテーション資料については、毎年すべてがホチキス止めされたものを配布していたが、今年からは資料ごとにクリップ（もしくはホチキス）で留めたものをダブルクリップで綴じる形に変更することとなった。

1.2. 講演関連

1.2.1. 講演者からの回答確認

講演者から「配布資料等提出依頼」の回答がまだ来ていないので、後日事務局より確認を行う。

講演中に参加者がPC使用や写真撮影をすることについての可否を、山田委員長から講師に確認することとした。

1.2.2. ヒアリングシートの講演者への報告

山田委員長より、各講演者に即した形でヒアリングシートの送付を行う。その際、氏名については非表示にしたものをお送りする。

1.3. ポスター展示

1.3.1. 参加状況の確認

事務局より配布資料では17校だが、メール未着が1校あったため、全部で18校の応募があった旨が報告された。

ポスター現物について、予め宅配便で送付する大学はなく、すべての大学が当日持参する予定となる。

1.3.2. 準備

パネルについては、前日に倉庫から出してもらい、会場に格納する。1日目朝に会場から搬出し、エレベータホールに設置。1日目終了時に会場へ入れておく。

二日目も朝に会場から出し、研修会後は会場校の指示に従い片付けることとする。

また、当日写真を印刷し忘れた人がいた場合は、桜美林大学にて印刷することができるかどうか確認を行った。

参加者への説明について、初日の昼休み前に杉谷委員から説明を行うこととした。

杉谷委員より吉田氏へ、事前に申込書と添付ファイルのサンプルを送付することとした。

1.4. ワークショップ

1.4.1. 仁上先生との調整

渡邊氏より仁上先生と直接やり取りを行っている。ブランディングの位置づけについて意識あわせが必要と考えている。渡邊氏は図書館以外から見たブランディングについて話をする予定。

1.4.2. キャンパスツアー

図書館へ学生を誘導するために、学内のポスター掲示場所をまわり、検討を行うこととした。学内の設置場所は8箇所を予定していたが、ワークショップの班は10グループあるため、同じ箇所に2グループのPOPを掲示するのではなく、別の箇所に掲示をすることとなった。追加の掲示場所は、図書館入口前のスペースで図書館内に人を誘導するものと、講演会会場の崇貞館地下にある食堂を予定している。図書館内に掲示をするという案も出たが、遠くに行くチームと図書館内のみを案内してもらいチームで学生と対話する時間が変わるため、不公平ではないかという意見も出された。また、図書館外に統一したほうが講評しやすいとの意見も出された。そのため、図書館の外から図書館内へというPOPに統一することとした。ツアーは学生主導とせず、参加者が学生に対して質問をしながら情報を引き出すこと想定している。

2. その他

2.1. ワークショップ等の講評について

今回の研修会では、twitterを利用し、参加者や学生からの感想等の募集を行う。ハッシュタグ #私大図協研修会 2013 などのタグを作成し、当日のオリエンテーション資料に印刷する。また初日のオリエンテーションにおいて参加者へ呟きを促す。また、研修会後も引き続、掲示したPOPへの学生の感想をtwitterの呟きや学生のblog、およびアンケート用紙への記入等を通じて受け付けることとなった。

2.2. 講演中の写真等について

写真等について、講演中にご遠慮していただくことを原則とする。その一方で講演者に写真撮影、録音、PC使用についての可否の確認を取る。

2.3. 次回研修委員会の日程について

次回は桜美林大学 町田キャンパスでの研修会当日となる。

以 上